

2019 年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	065							
事務事業名	じんかい処理経費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	04	項	02	目	02	事業	01
担当部	経済環境部	担当課	生活環境課	担当係	クリーン推進	係												
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)				根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 廃棄物の処理および清掃に関する法律) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則 (名称: 常総市廃棄物の処理及び清掃に関する条例, 常総市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則)												

2 事務事業の目的		①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどのようなか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。	
現状課題	現在、主にステーション方式によりごみの収集運搬しているが、ごみの分別(可燃・不燃・資源)が不十分な地域が多い状況にある。また、ごみの減量といえはリサイクルが目ざされているが、リデュース(発生抑制)やリユース(再利用)の取り組みが、ごみの減量に繋がっていき、事業費の削減にも繋がってくる。今後、お知らせ版等を利用して市民への3Rの周知徹底していきたい。	誰・何を対象に	一般市民を対象とした、家庭系一般廃棄物の適正処理、分別、3Rの推進
		どのような方法・手順で	市民に分かりやすい分別方法のチラシの交付、集団資源回収報奨金制度、生ごみ処理容器購入費補助金交付制度を活用した周知徹底及び3Rの推進を図る。
		望ましい状態	家庭から排出された一般廃棄物の分別や適正処理、活発な3R推進活動が実施され、1人当たりのごみ排出量を少なくする。

3 事務事業の主たる成果指標		数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。									
指標名	1日1人当たりのごみ排出量	単位	g	目標値	550	目標年次	2022	年度		指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	限りある資源を有効活用するため、不燃ごみとして出していたペットボトル・プラスチック容器包装を資源物として、可燃ごみとして出していた牛乳パック類を資源物として分別収集を行うとともに、有害ごみの適正処理、粗大ごみの収集運搬の受益者負担導入により、1日1人当たりのごみ排出量を平成28年度比△3.5%のごみの減量を目指す。

4 事務事業の実績 ㊦		当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																												
年度	2016年度			2017年度			2018年度																							
	業務名	活動量		業務名	活動量		業務名	活動量																						
事務事業を構成する主な業務	① ごみ収集委託			① ごみ収集委託			① ごみ収集委託																							
	② ごみ不法投棄委託			② ごみ不法投棄委託			② ごみ不法投棄委託																							
	③ 不法投棄処理委託			③ 不法投棄処理委託			③ 不法投棄処理委託																							
	④ ごみ袋購入費			④ ごみ袋購入費			④ ごみ袋購入費																							
	⑤			⑤			⑤																							
	⑥			⑥			⑥																							
	⑦			⑦			⑦																							
	⑧			⑧			⑧																							
	⑨			⑨			⑨																							
	⑩			⑩			⑩																							
	⑪			⑪			⑪																							
	⑫			⑫			⑫																							
	目標値に対する実績値	570	g	目標値に対する実績値	571	g	目標値に対する実績値	570	g																					
決算額	計	201,060,331	円	内訳	特定財源	11,546,000	円	一般財源	189,514,331	円	計	199,012,568	円	内訳	特定財源	12,272,800	円	一般財源	186,739,768	円	計	202,954,233	円	内訳	特定財源	12,005,000	円	一般財源	190,949,233	円
		(住民一人あたりの行政コスト) 3,306 円			(住民一人あたりの行政コスト) 3,292 円			(住民一人あたりの行政コスト) 3,383 円																						

5 担当者評価 ㊦		実施したことによる成果や問題点を記入してください。	
成果	目標未達成	成果内容	近年、1日1人当たりのごみ排出量は、ほぼ横ばいの状況が見られる。更なる削減のための方策を検討し実施したいと考える。
問題点			家庭系一般廃棄物処理施設が、2つの一部事務組合に分かれているため、2つの分別方法がある点。

6 担当部長及び担当課長評価 ㊦		担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。	
事務事業の方向性			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由	一人ひとりの市民がごみの排出削減、3Rの推進に取り組むことにより、じんかい処理経費の削減に努めていきたい。		

7 実施計画 ㊦		今後3年間の事業内容について、どのようなことを・どの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の「歳出の計」と「歳入の計」は一致させてください。																			
年度	2019年度			2020年度			2021年度														
事業内容	①ごみ収集委託			①ごみ収集委託			①ごみ収集委託														
	②ごみ不法投棄委託			②ごみ不法投棄委託			②ごみ不法投棄委託														
	③不法投棄委託			③不法投棄委託			③不法投棄委託														
	④ごみ袋購入費			④ごみ袋購入費			④ごみ袋購入費														
	※3R推進活動等を推進するにより、排出量の削減を推進していく。			※3R推進活動等を推進するにより、排出量の削減を推進していく。			※3R推進活動等を推進するにより、排出量の削減を推進していく。														
成果指標	指標名	1日1人当たりのごみ排出量	単位	g	目標値	569	指標名	1日1人当たりのごみ排出量	単位	g	目標値	568	指標名	1日1人当たりのごみ排出量	単位	g	目標値	567			
予算額	歳出	計			208,070	千円	歳出	計			207,000	千円	歳出	計			206,000	千円			
			特定財源			11,000	千円			特定財源			11,000	千円			特定財源			11,000	千円
	歳入		一般財源			197,070	千円	歳入		一般財源			196,000	千円	歳入		一般財源			195,000	千円
			計			208,070	千円			計			207,000	千円			計			206,000	千円

8 財務アドバイザーの見解		『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された2018年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。	
---------------	--	---	--

9 行政改革懇談会(市民)の意見		担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。 ごみ処理には、一人当たり3,300円という巨額な費用がかかっているため、3Rを徹底し、排出量の削減をしていく必要がある。	
------------------	--	--	--

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊦		事務事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由	一人一人の排出削減は、目に見えて大幅に削減できるものではないが、今後も3R運動の推進などごみの減量化を促進し、着実に経費節減に取り組んでいくべきである。		

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㊦		実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。	
事業内容			